

ICTで変わる介護と地域連携の最前線

令和8年2月5日 福祉建設委員会

新潟県長岡市高齢者総合ケアセンター「こぶし園」において、福祉施設におけるICTを活用した情報共有、地域連携、施設運営や災害対応の取り組みを調査し、本町の介護体制の充実につなげることを目的にしたものである。

主な調査内容

- ① インカムやタブレットを活用したリアルタイムの情報共有体制
- ② 医療・介護・救急をつなぐ情報連携システムの運用
- ③ 在宅支援を支える小規模多機能施設と地域交流・災害対応の取り組み

委員会としての問題認識

- ① 人材不足が進む中、ICTによる業務効率化は不可欠
- ② 本町では医療・介護の連携体制が十分とは言えない
- ③ 物価高・人件費増により介護施設の運営は厳しさを増している

むすび

「こぶし園」では地域行事への参加や介護予防事業の実施を通じて地域との積極的な交流で地域全体の福祉の向上に寄与していた。ICT活用と地域連携の強化は、これからの介護の鍵である。

本町においても、誰もが安心して暮らせる福祉体制の構築に向け、引き続き調査・研究を行っていく。

